

ご結婚などで  
パスポートに  
記載されている  
氏名・本籍に変更が  
あった方へ



安心な海外旅行へ！

氏名・本籍に変更があった場合の申請別の比較

	新規パスポートへの切り替え	記載事項変更旅券 ※3月20日から	記載事項の訂正 ※3月19日まで
現在有効なパスポート	返納後に失効し、新しいパスポートになります		返納せず、訂正前と変わりません
パスポート内の署名	新しくなります		訂正前と変わりません
顔写真			
ICチップのデータ			
旅券番号			
手数料	10年：16,000円 5年：11,000円 11歳以下：6,000円	6,000円	900円
有効期間	発行日から10年又は5年	発行日から返納いただいたパスポートの有効期間満了日まで	有効期間満了日まで
申請から受取までの期間	8日間（土日祝日年末年始を除く）		
受付時間	9:00～16:30		

出入国時のトラブル防止のため、新制度の活用をおすすめします。  
**記載事項変更旅券とは**  
変更した氏名、本籍などがパスポートの顔写真のページやICチップの情報にも反映されます。  
一度、お持ちのパスポートを返納していただき、返納したパスポートと有効期間満了日が同じ新しいパスポートを発行しますので、パスポート内の署名も変更後の氏名での署名に、顔写真も新しいものに変更可能です。

今までは？

氏名や、本籍の都道府県名を変更する場合、旅券の追記ページに訂正内容をスタンプとタイプ印字により記載するのみで、顔写真のページやICチップに記録された個人の情報は変更されませんでした。  
このため、出入国審査や渡航先のホテルのチェックインなどで予想以上に時間がかかるなど支障が生じるケースがありました。  
**問合せ先** 市民課市民係  
(窓口②) ☎22215

メディカル通信 vol.3  
脳と神経の病気について  
副院長・内科部長(神経内科専門医、指導医) 中島 雅士

下田メディカルセンターでは、脳と神経の病気について神経内科と脳神経外科が診療を担当しています。脳と神経の病気のありふれた症状としては、みなさんも経験される頭痛、めまい、手足のしびれ、などがあります。  
神経内科と脳神経外科の診療の目的は、神経系の診察と画像検査によって、これらのありふれた症状から重篤な脳の疾患を見つけ出して治療することにあります。  
例えば、急に起こった頭痛で吐き気をとまらなう代表的な病気は片頭痛とクモ膜下出血です。頭痛の経過と神経症状からクモ膜下出血が疑われる場合には、頭部CT検査を行って診断を確定します。クモ膜下出血であれば緊急の外科的治療が必要になることがあります。片頭痛の場合には、発作時の頭痛を軽くするためのくすり、あるいは発作を予防

位の病気によって起こります。朝、起きたときに手がしびれているという経験をお持ちの方もいることと思いますが、もっとも多い原因は手根管症候群といって手首での末梢神経の圧迫です。  
しかし手のしびれが同じ側の口の周りのしびれを伴っているときは脳梗塞または脳出血の可能性が極めて高くなります。不安や疲労を背景にして両手がしびれてこわばってくるのは、呼吸が荒くなる過換気症候群の症状で、この場合には精神的な誘因によって起こるしびれです。  
神経系の診察と治療は、神経症状の原因となっている神経系の部位と病気の性質を判断して、CTやMRI(核磁気共鳴像)などの画像検査や神経の機能をみる生理学的検査によって診断を確定します。神経系の症状は感覚、運動、言語から意識、認知の異常まで広範にわたります。  
異常を感じた方はどうぞ下田メディカルセンターを受診してください。  
**問合せ先**  
下田メディカルセンター  
☎2525

航快路国 Vol.15

まちづくり活動に関わった頃から、そして市長選出馬時点からも「暮らす人も訪れる人も快適なまち『快国』下田をめざして」というキャッチコピーを示してきました。  
「快適なまち」とはどのようなものなのか、多角的多様な、場面場面を考えてきました。最近、ジェーン・ジェイコブズ女史著書「アメリカ大都市の死と生」の中の「快適な都市の4つの条件」という文章に出会いました。  
1961年の著作ですが、アメリカ大都市が自動車中心になり、人間不在の状況になっている機能優先の近代都市計画を批判しているものであります。この4つの条件を下田のまちが満たしていることに驚きました。

- 快適な都市の4つの条件とは
- ① まちの地区は2つ以上の機能を果たすこと。住宅地区、工場地区などと単一機能でゾーニングした都市は快適ではない。
  - ② 道は狭く曲がっていて突き当たり、いくつものルートがあること。住宅ブロックも短いこと、幅の広い道路が直線で横切っているだけでは快適ではない。
  - ③ 古い建物が残っていること。
  - ④ 人口密度が十分に高く、子供や高齢者、サラリーマン、学生、商人、芸術家など多様な人々が集まっていること。
- 都市は多様性を持つことで快適になります。「商うも暮らすも満ちるまち」「秩序ある混在」がまちを魅力的で活力あるものにします。  
下田の集約的都市構造はこれを満たしています。この精度を高めることが下田のまちづくりです。  
私達市民はこの良さを気づき、育てましょう。  
下田市長 楠山 俊介



3月16日～4月6日  
風の花祭り～海のゆうえんち～  
昨年の様子  
まどが浜海遊公園が市内の児童生徒全員、市民、そして姉妹都市沼田市の小学生が作った約1万6千本の花の風ぐるまで彩られます。  
期間中は花の風ぐるま体験も気軽に楽しめますので会場にぜひお越しください。  
**会場** まどが浜海遊公園



大野町ばら祭りの様子  
**フラワー都市交流連絡協議会  
大野町総会参加者募集**  
日程 5月18日(日)～5月19日(月)1泊2日  
募集人員 15名程度  
負担金 45,000円(往復交通費、宿泊料を含む)  
締切り 3月20日(木)必着  
※参加資格は20歳以上とさせていただきます  
**問合せ先** 観光交流課 ☎23913